



2020年度 第3四半期
決算概要

2021年2月12日
日揮ホールディングス株式会社

グループ財務部長の田口です。

2020年度第3四半期の決算概要についてご説明させていただきます。

1. 2020年度第3四半期ハイライト
2. 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
3. セグメント情報
4. 連結貸借対照表
5. 受注の状況
6. 業績見通し

1. 2020年度第3四半期ハイライト



- 新型コロナウイルスの影響がある中で、遂行中プロジェクトは着実に前進
- 各段階利益は通期予想に向かって順調に進捗
- 受注は通期目標の8割強を確保
- 強固な財務基盤を維持

3

最初に当第3四半期のハイライトです。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、様々な制約を受けていますが、遂行中のプロジェクトは各種対策を取りながら着実に前進しています。

業績面では期首発表の通期業績予想に向かって概ね順調に進捗しています。

受注は第3四半期までに通期目標の8割強を確保しており、目標達成に向けて引き続き努力して参ります。

強固な財務基盤を維持しており、プロジェクトの資金繰りも順調です。

2. 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (決算短信 P.7~8)



【億円】

	FY2019 3Q	FY2020 3Q	前年同期比	通期予想値
売上高	3,422	3,049	△ 373	4,800
売上総利益	298	327	+28	430
利益率	8.7%	10.7%	+2.0pt	9.0%
営業利益	134	173	+38	200
経常利益	183	185	+1	230
親会社株主に帰属する 四半期純利益	47	69	+22	80
四半期純利益	48	70	+21	
その他の包括利益	△ 26	143	+170	
四半期包括利益	22	213	+191	

4

次に連結損益計算書及び連結包括利益計算書です。

前年同期比で減収増益となりました。

売上高は、前年同期比373億円減の3,049億円。

売上総利益は、28億円増の327億円。

粗利益率は、2ポイント改善して10.7%です。第3四半期も前四半期に引き続き、遂行中プロジェクトの採算改善があり、通期予想を上回りました。

営業利益は、38億円増の173億円。

経常利益は1億円増の185億円。

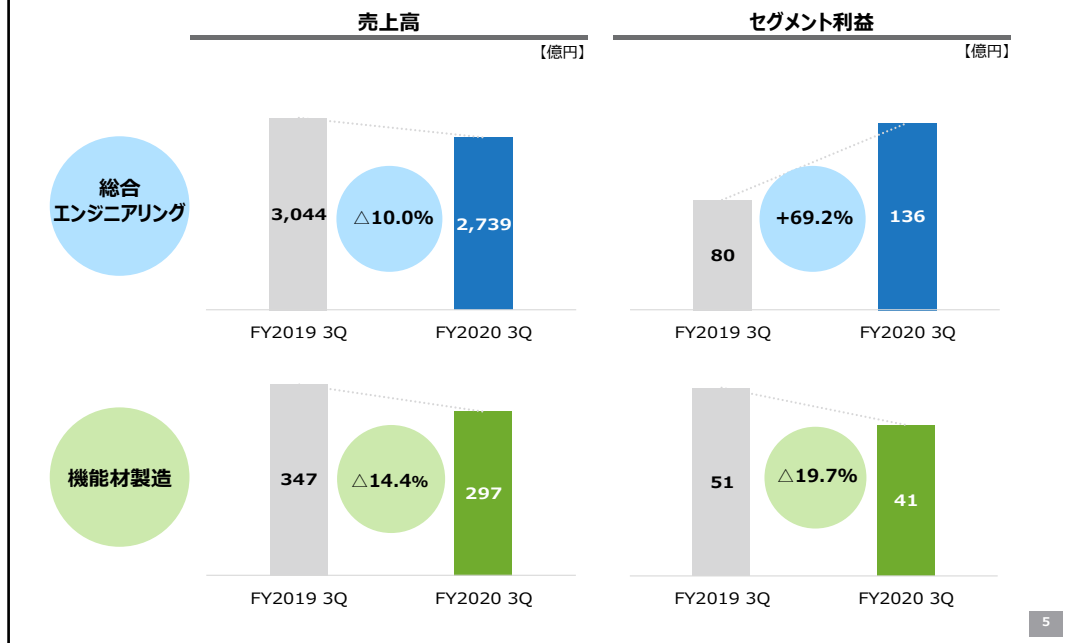
親会社株主に帰属する四半期純利益は22億円増の69億円です。

営業外損益では持分法利益の減少、特別損益では政策保有株式売却による売却益の計上などがありました。

通期予想に対する進捗率は、売上高で63%にとどまっています。新型コロナウイルス感染拡大の影響が続き、第3四半期に入っても工事進捗の大幅な改善にまでは至っていないことや一部の海外子会社で売上高が期初予想を下回っていることによるものです。

一方、各段階利益では80%前後の進捗となっており、総じて順調です。

3. セグメント情報 (決算短信 P.10)



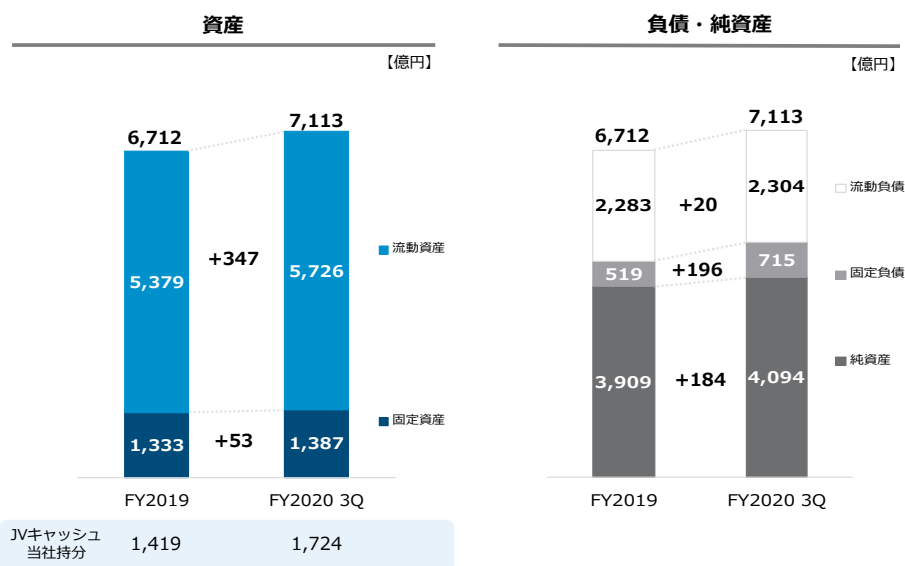
次にセグメント情報です。

総合エンジニアリング事業では、売上高が前年同期比10%減収の2,739億円、セグメント利益は不採算案件の減少などにより69.2%増益の136億円となりました。

主な売上高計上案件は、LNGカナダプロジェクト、タイの化学案件、国内化学案件などです。

機能材製造事業では、新型コロナウイルスの影響による需要の低下から減収減益となりました。売上高が前年同期比14.4%減の297億円、セグメント利益が19.7%減の41億円です。

4. 連結貸借対照表 (決算短信 P.5~6)



次に連結貸借対照表です。

総資産は前期末に比べ401億円増加して7,113億円になりました。

現金預金の増加などにより流動資産が347億円増加しております。

バランスシートに計上していないジョイントベンチャーの現預金残高の当社持分は1,724億円です。

負債・純資産サイドでは普通社債200億円の発行により固定負債が増加しています。

純資産は、利益計上その他、為替換算調整勘定の増加などにより184億円増加しました。

自己資本比率は57.5%となりました。

5. 受注の状況 (決算短信 P.12)



i) 受注高

【億円】

	FY2020 3Q	通期予想
海外	4,737	5,400
国内	868	1,300
合計	5,606	6,700

7

次に受注の状況です。

当第3四半期連結累計期間の受注高は、海外4,737億円、国内868億円、合計5,606億円となりました。

海外は、第2四半期にイラク製油所近代化プロジェクトを受注し、その後、大型案件はないものの、ガス、石油化学関連の基本設計役務などの受注がありました。

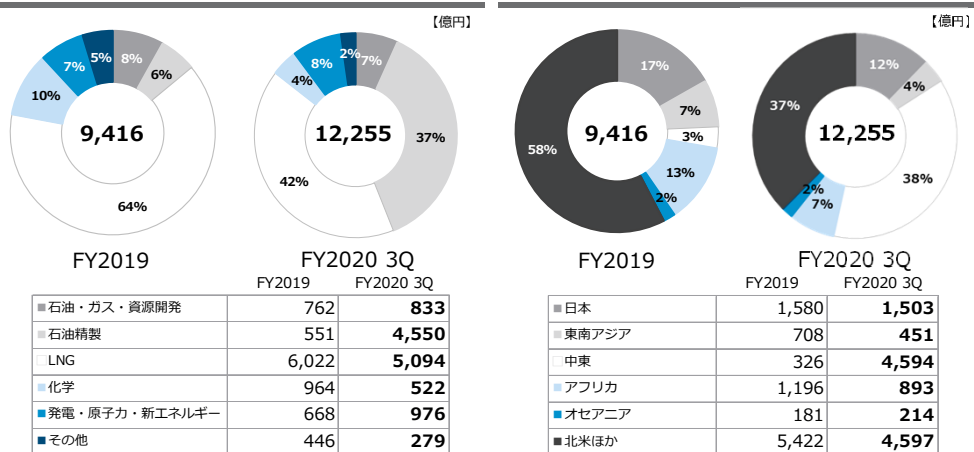
国内では、当第3四半期に大型のバイオマス発電所を受注しました。

海外ではインフラ分野における大型案件の延期などを受け苦戦しておりますが、国内では第4四半期に受注が期待される案件もあり、引き続き通期予想・目標の達成に向けて努力してまいります。

ii) 受注残高

分野別

地域別



FY2020
3Q
主要案件

1,000億円以上
LNG (カナダ)
製油所近代化 (イラク)

500億円以上

300億円以上
FLNG (モザンビーク)
ガス処理設備 (サウジアラビア)
バイオマス発電 (国内)

次に受注残高です。

2020年12月末の受注残高は1兆2,255億円となりました。

分野別ではLNG関係が42%、石油精製関係が37%です。

地域別では中東が38%、北米他が37%となっています。

主な受注残高は、LNGカナダプロジェクト、イラクの製油所近代化プロジェクト、モザンビークFLNGプロジェクト、サウジアラビアのガス処理設備、そして、当第3四半期受注の国内バイオマス発電所となっております。

6. 業績見通し



通期の業績予想に変更はありません。

【億円】	
	通期予想
受注高	6,700
売上高	4,800
売上総利益	430
利益率	9.0%
営業利益	200
経常利益	230
親会社株主に帰属する 当期純利益	80
1株当たり配当金	12.0円
換算レート(米ドル)	105円

9

最後に通期の業績見通しですが、期初発表予想から変更しておりません。

この予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が今後著しく悪化せず、当社グループの事業環境が今年度末に向けて徐々に回復するという前提で算出していました。

第3四半期を過ぎこれまでの状況を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染再拡大もあり、事業環境はいまだ回復に至っておりません。

そうした中、感染拡大防止対策の他、各国の規制等、様々な制約条件に対応しながら、手持ち案件を遂行しています。

そのため、総合エンジニアリング事業では、期待していた年度後半の売上高の大幅な回復は見られていません。

機能材製造事業でも、ファインケミカル分野の一部に需要回復の動きはみられるものの、全般的に低調な販売状況が継続しています。

こうした状況を勘案すると、売上高が通期予想値に達するかどうかは不透明な状況です。

一方、利益面では、総合エンジニアリング事業において、国内外案件の着実な進捗に伴いリスクが低下したことなどによる採算改善が見られます。また、コスト削減努力の効果もあり、第3四半期を終えた時点では通期予想値に向かって順調に進んでいると言えます。

第4四半期のリスクとしては、遂行中案件における新型コロナウイルスのさらなる影響の他、顧客との費用負担の交渉の動向、北米の石油・ガス生産事業等の事業資産の評価があり、これらについて注視してまいります。

この業績予想に使用した為替レートは、1米ドル105円です。

あくまでも参考ですが、為替レートの変動による影響は、1円当たり売上高20億円、粗利益は1億円、経常利益3億円程度です。

2020年度第3四半期の決算概要の説明は以上です。

参考資料

参考（2020年度のセグメント別見通し）



通期の業績予想に変更はありません。

【億円】

	総合 エンジニアリング	機能材製造	その他 (調整額含む)
売上高	4,320	420	60
セグメント利益	150	50	0
利益率	3.5%	11.9%	0.0%

参考（地域別売上高、受注高）



売上高

【億円】

	FY2019 3Q	FY2020 3Q
日本	1,261 (36.9%)	1,146 (37.6%)
東南アジア	437 (12.8%)	354 (11.6%)
オセアニア	68 (2.0%)	3 (0.1%)
アフリカ	544 (15.9%)	293 (9.6%)
中東	381 (11.1%)	228 (7.5%)
欧州・CIS	57 (1.7%)	3 (0.1%)
北米ほか	670 (19.6%)	1,019 (33.5%)
合計	3,422 (100.0%)	3,049 (100.0%)

受注高

【億円】

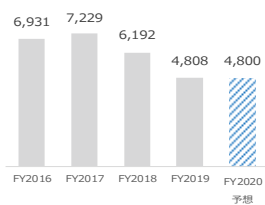
	FY2019 3Q	FY2020 3Q
日本	892 (70.0%)	868 (15.5%)
東南アジア	158 (12.5%)	80 (1.4%)
オセアニア	9 (0.7%)	2 (0.1%)
アフリカ	59 (4.7%)	19 (0.3%)
中東	50 (4.0%)	4,501 (80.3%)
欧州・CIS	39 (3.1%)	5 (0.1%)
北米ほか	65 (5.0%)	127 (2.3%)
合計	1,275 (100.0%)	5,606 (100.0%)

参考（業績推移-通期）

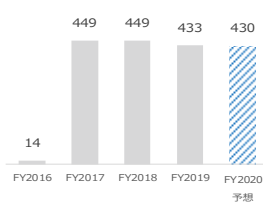


【億円】

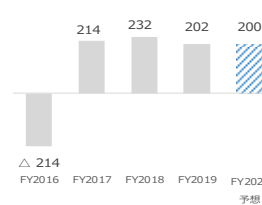
売上高



売上総利益



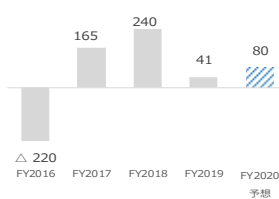
営業利益



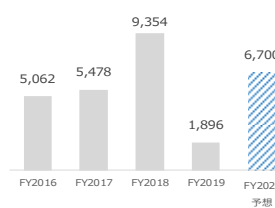
経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益



受注高



将来の見通しに関するご注意事項



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

<本資料に関するお問い合わせ先>
日揮ホールディングス株式会社
グループ経営推進部 コーポレートコミュニケーショングループ
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com